



私たちの「選ぶ」が社会を変える パルシステムでエシカル消費 SDGs: 持続可能な開発目標

“選ぶで変わる”



ほんもの
実感

くらしづくりアクション

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



パルシステム生活協同組合連合会

- 設立年月日1990年2月9日
- 会員生協数13会員
- 会員総事業高2,117.8億円
- 供給高1,554.0億円
- 出資金108.4億円
- 職員数282人※定時職員を除く
- 活動エリア1都11県（宮城県／福島県／茨城県／栃木県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／新潟県／山梨県／静岡県）
- 会員組合員数152.2万人

2018年3月31日現在



パルシステムの事業の特徴

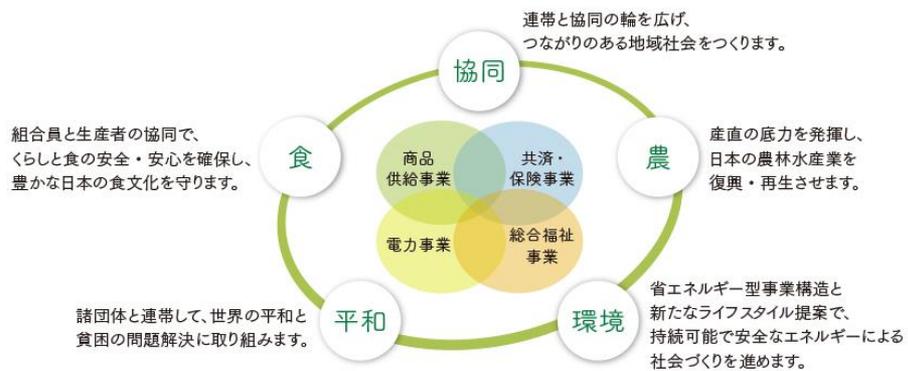


1. 個人対応型「無店舗」事業に特化（店舗は持たない）
2. 暮らしの課題解決事業（事業コンセプト）
 - ・ひとりひとりの暮らしを協同で
 - ・ライフステージ別注文媒体（2媒体・生活提案と情報）
 - ・オプションチラシ（子育て・アレルギー・高齢者向け等）
3. グループの理念「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」
 - ・産直と環境のパルシステム
 - ・「食の安全・安心」と「環境にやさしい」へのこだわり
4. 参加型事業(組合員参加の商品開発・チェック・生産者との交流)
5. 生産者や取引先とのコラボレーション（協働）
 - ・生産者消費者協議会
 - ・パルシステム協力会

パルシステムの理念 心豊かなくらしと共生の社会を創ります

パルシステムの2020年ビジョン
食と農を基本に協同の地域づくり

めざすもの：パルシステムは地域社会の中で連帯と協同のセーフティネットをつくります

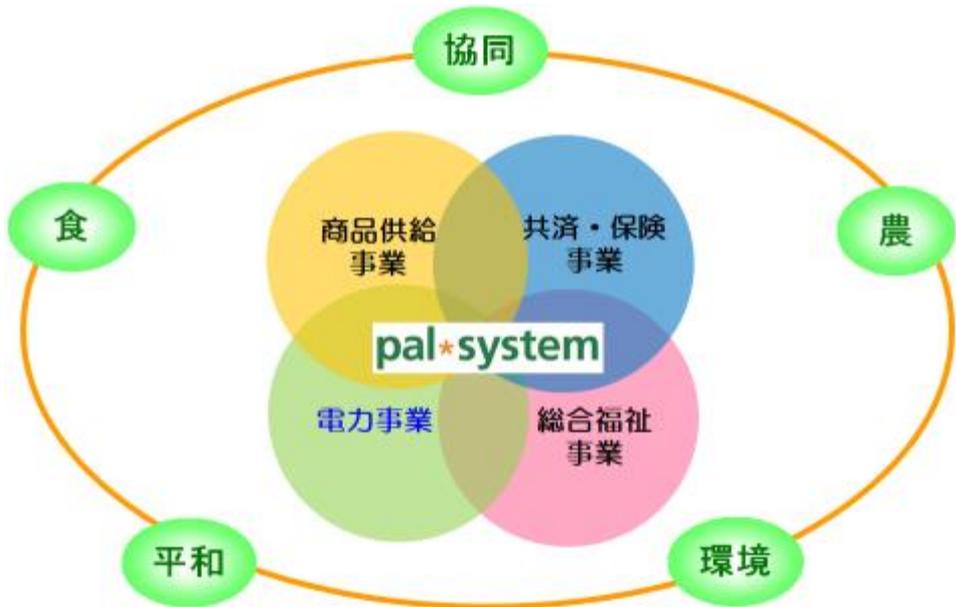


no one will be left
behind

だれひとり、
置き去りにすることなく

心豊かなくらしと
共生の社会を創ります

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



ビジョンと持続可能な開発目標 (SDGs)

パルシステム2020年ビジョン		主に関連するSDGs
協同	連帯と協同の輪を広げ、つながりのある地域社会を作ります。	     
農	産直の底力を発揮し、日本の農林水産業を復興・再生させます。	      
環境	省エネルギー型事業構造と新たなライフスタイル提案で、持続可能で安全なエネルギーによる社会づくりを進めます。	     
平和	諸団体と連携して、世界の平和と貧困の問題解決に取り組みます。	     
食	組合員と生産者の協同で、くらしと食の安全・安心を確保し、豊かな日本の食文化を守ります。	      



しあわせを広げる「選択」



いま求められるのは、社会や世界の課題に“自分ごと”として向き合おうとする真摯な姿勢と、課題解決のための主体的な選択。一人ひとりが理解して買うことで、社会は必ず変わる。小さな力も集まれば社会を変える大きな力となる。それが、パルシステムが考える「エシカル」。

一人ひとりの力を束ね、分断されがちな関係をつなぐ役割こそが、パルシステムに課せられた使命だと考えています。



エシカルで
みんな笑顔

2014年からスタート



私たちの「選ぶ」が社会を変える 「ほんもの実感！」くらしづくりアクション



“選ぶで変わる”



ほんもの
実感

くらしづくりアクション

2017年に政府が新設
ジャパンSDGs
アワード受賞！

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「ほんもの実感！」くらしづくりアクション

- 消費者一人ひとりの力を結集させ、商品「選ぶ」ことでよりよい社会づくりをめざすキャンペーン。

“選ぶで変わる”



ほんもの
実感

くらしづくりアクション

- ①商品の背景を理解し、社会性や環境面でも価格だけでない価値を知り商品を選択する
- ②生産者やメーカーと直接触れ合える機会を増やし、作り手の思いや物語を共有する
- ③作られた商品に感謝の気持ちで無駄なく消費し、食料廃棄を減らす



貧困問題への取り組み

■ 国際産直による地域経済自立支援



■ 生活相談や年末食糧支援の実施 貧困問題取組団体への支援





飢餓・食料安全保障への取り組み

■ 持続可能な農業の推進



■ 子ども食堂やフードバンクなどの団体への支援活動



■ 食料自給率向上の取り組み





学び、教え合いの取り組み

■ 組合員による食育活動



■ 小学校での「お米の学校」



■ 「ほんもの実感！」連続講座、商品学習会

“選ぶで変わる”
ほんもの
実感
くらしづくりアクション



■ 組合員講師によるPLA商品学習会、LPAライフプラン学習会



パルシステム千葉「こども・若者未来基金」の就学支援実施
パルシステム神奈川ゆめコープ高校生奨学金制度
パルシステム連合会学費助成制度構築の検討も...

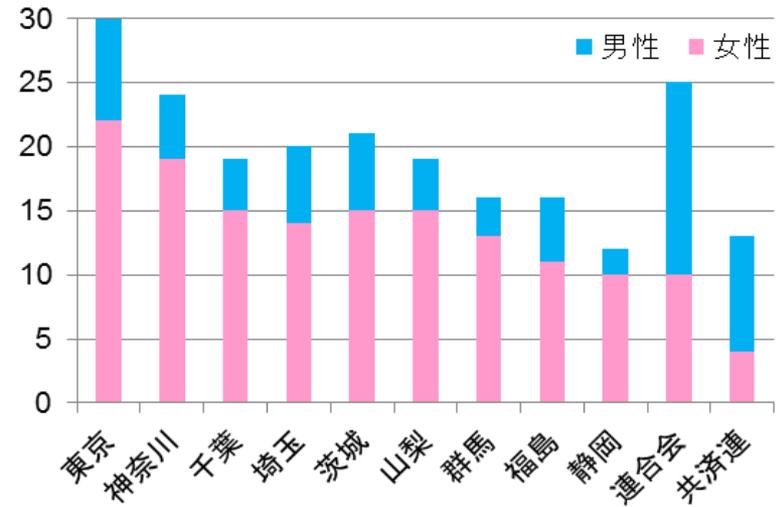


女性支援、活躍推進の取り組み

■ 職員有志から始まった東新宿本部祝日保育



■ 会員生協では理事の7割以上が女性



■ 市民団体による
女性支援活動への助成金

ボードメンバーの
半数、理事長の9
割が女性！



■ 女性生産者の交流活動

■ PLAやLPA、食育リーダーなどの養成講座開催





pal*system

水循環・生態系を守る取り組み

■ 水を汚さないための石けん普及運動



■ 環境保全に努める団体とともに届ける『富士の天然水』



■ 田んぼの水と生き物を守る米作り



■ 国内生産・製造の優先によるバーチャルウォーター発生抑制





再生可能エネルギーの取り組み

■ 発電産地は43カ所、 契約件数は4,200件を超過 (2018年1月現在)



■ バイオマス発電



産直鶏の鶏ふんから発電！

■ 小水力発電



■ 太陽光発電





商品の作り手の想いを伝える



Action ② 「ほんもの」をつくる
生産者・メーカーと会おう、話そう、伝えよう!

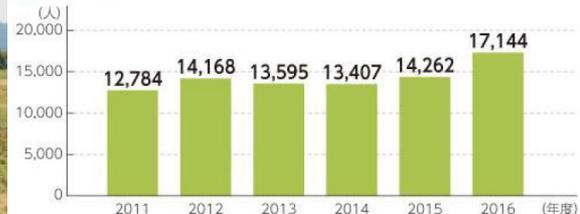
■ 各生協での商品展示会



■ 「産地へ行こう。」等の産地交流会



交流企画参加人数の推移



※会員生協別参加人数、「産地へ行こう。」参加人数、公開確認会の関係者参加人数、監査人講習会修了者数(124人)の合計。

■ 公開確認会

1999年から述べ130回5,848名が参加(2017年度末時点)



■ 商品学習会





おいしくムダなく使いこなそう！

Action ③

「ほんもの」をおいしく
ムダなく使いこなそう！

■ 食品ロスを減らした商品開発

農産物として出荷されるもの (100g~650g)

650g以上のものや曲がり、キズ、へこみなどがあるもの

規格が小さすぎる大きすぎる！

台風などの災害で、年々のある野菜が大量に！

農産物で予定よりとれ過ぎた！

市販品では
70%廃棄！



皮むきで捨てる部分を減らしました！



茎もおいしく！



市販品は
45%廃棄！



もったいない
グリーンセット

■ 食べ物を余さず使うくらしの提案





豊かな海を守る取り組み

■ サンゴ礁を守り、育む里海づくり
恩納もずく



■ 海の清掃活動
漁師がつくった釜あげしらす



■ マイクロプラスチック流出防止
白いセルローススポンジ



■ 植樹活動
北海道えりも産日高昆布



■ 資源管理型漁業・植樹活動
野付漁協



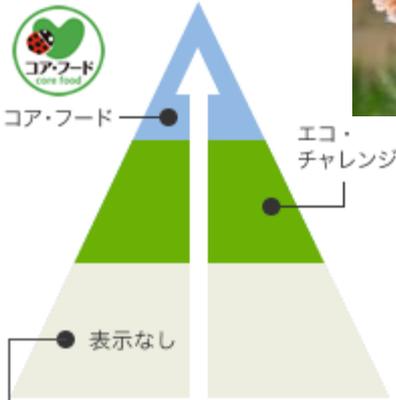


pal*system

森林・生物多様性保全の取り組み

■ 環境保全型農業の取り組み

予約登録米制度をはじめとした産地の取り組み支援



コア・フード、エコ・チャレンジ基準
農薬削減で生物多様性を保全



■ 森林保全・林業再生の活動

南都留森林組合



■ うなぎ資源回復の取り組み

大隅養まん漁業協同組合





草の根の活動を応援 市民活動助成金制度

パルシステム東京
市民活動助成基金
14団体 4,543,068円
震災復興支援金
16団体4,000,000円

パルシステム
神奈川ゆめコープ
市民活動応援プログラム
18団体4,000,000円

パルシステム千葉
NPO助成基金
12団体2,903,620円

パルシステム埼玉
市民活動支援金
7団体2,500,000円
東日本大震災復興支援助成金
4団体1,000,000円

パルシステム茨城
くらし活動助成基金
8団体2,020,000円

パルシステム山梨
市民活動助成金
10団体1,489,450円

パルシステム連合会
地域づくり基金
75団体18,371,000円

パルシステム共済連
たすけあい活動助成金
64活動9,606,497円

グループ全体で227団体、5,043万円を支援

地域の人と人のつながりで展開される、様々な課題に取り組む市民団体を支援 2017年度

障害者
支援

環境活動

震災
復興支援

子育て
支援

居場所
作り

貧困
支援

平和活動

学びの
場作り

18
などなど...

食べたものは、体になっていくから。

